

第1回 山梨県新しい国スポ・全スポ あり方検討懇話会

令和5年2月7日(火) 15:00～

山梨学院大学 スポーツ科学部棟102講義室

1 懇話会

懇話会開催の趣旨及び目的

令和14年開催の「第86回国民スポーツ大会及び第31回全国障害者スポーツ大会」の本県招致を目指して、山梨らしい新たな大会のあり方等について、多様な分野の皆様から御意見をいただきたい。

設置期間・開催回数

令和5年2月～4月・計3回

懇話会の進め方(スケジュール)

第1回
(2月)

- ・ 懇話会の趣旨及び目的
- ・ 大会の概要
- ・ 国体改革の取組の現状
- ・ 山梨県の現状
- ・ 「課題」に対する意見交換

第2回
(3月)

- ・ 「課題」に対する意見交換
- ・ 山梨らしい新たな大会のあり方について
- ・ 懇話会意見交換内容の整理

第3回
(4月)

- ・ 懇話会報告書まとめ

5月

県へ報告書提出

2 大会の概要

目 的

○ 国民スポーツ大会(国スポ) ※

大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。 ※令和6年(第78回)大会より、国民体育大会から名称変更

○ 全国障害者スポーツ大会(全スポ)

障がいのある選手が競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある方の社会参加の推進に寄与することを目的としたものである。

主 催

国スポ：公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県

各競技会については、日本スポーツ協会加盟競技団体等及び会場地市町村を含める

全スポ：公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県 等

開催基準

○ 開催年

- ・ 毎年開催・都道府県持ち回り
- ・ 原則、同一都道府県内の開催

○ 会場地

- ・ 大会の会場地は同一市町村内での開催が原則
- ・ 場合によっては、近隣市町村での分散開催、近県施設での開催も可能

会 期

- ・ 冬季大会：12月～2月末日 5日間以内
- ・ 本大会：9月中旬～10月中旬 11日間以内
- ・ 全国障害者スポーツ大会：国スポ終了後に開催（近年は10月下旬） 3日間

実施競技(国スポ)

	実施競技			
冬季大会	正式競技(3競技)			
	スケート	アイスホッケー	スキー	
本大会	正式競技(下記38競技中、実施は37競技 ※隔年実施競技が1種目有り)			
	陸上競技 ローイング 体操 ウエイトリフティング 卓球 フェンシング 弓道 スポーツクライミング 銃剣道 ゴルフ	水泳 ホッケー バスケットボール ハンドボール 軟式野球 柔道 ライフル射撃 カヌー クレ射撃 トライアスロン	サッカー ボクシング レスリング 自転車 相撲 ソフトボール 剣道 アーチェリー なぎなた	テニス バレーボール セーリング ソフトテニス 馬術 バドミントン ラグビーフットボール 空手道 ボウリング
その他 (成績対象外)	特別競技(1競技)	公開競技	デモンストレーション競技	
	高等学校野球	綱引・ゲートボール等 (日本スポーツ協会加盟競技)	ペタンク・ドッジボール等 (開催県スポーツ協会加盟競技)	

実施競技(全スポ)

	実施競技		
正式競技 (個人・7競技)	陸上競技 (身・知)	水泳 (身・知)	アーチェリー (身)
	卓球 (身・知・精)	フライングディスク (身・知)	ボッチャ (身)
	ボウリング (知)		
正式競技 (団体・7競技)	バスケットボール (知)	車いすバスケットボール (身)	ソフトボール (知)
	グランドソフトボール (身)	バレーボール (身・知・精)	サッカー (知)
	フットベースボール (知)		
オープン競技 (開催自治体で 決定)	卓球バレー (身・知・精)	車いすテニス (身)	ゲートボール (身)
	グランド・ゴルフ (身・知・精)	車いすダンス (身)	ブラインドテニス (身)
	スポーツウェルネス吹矢 (身・知・精)	ハンドアーチェリー (身)	など

大会規模(直近の栃木県)

○ いちご一会とちぎ国体(国スポ)

- ・ 期 日：本大会 令和4年10月1日(土)～11日(火) 11日間
会期前 令和4年9月10日(土)～19日(月) 10日間
- ・ 実施競技数：正式競技37、特別競技1、公開競技5、デモンストレーション競技31
- ・ 参加者数(延べ)：総合開会式17,862人、総合閉会式11,230人、競技会328,983人
合計 358,075人(選手・監督、大会関係者、観覧者等の合計)

○ いちご一会とちぎ大会(全スポ)

- ・ 期 日：令和4年10月29日(土)～31日(月) 3日間
- ・ 実施競技数：正式競技14、オープン競技3
- ・ 参加者数(延べ)：開会式13,818人、閉会式14,297人、競技会29,988人
合計 58,103人(選手・監督、大会関係者、観覧者等の合計)

大会規模(直近の栃木県会場地)

○ いちご一会とちぎ国体(国スポ)

いちご一会とちぎ国体(第77回国民体育大会)会場地市町別競技

宇都宮市
 ● 総合開・閉会式
 ● 陸上競技
 ● 水泳(競泳・飛込・アーティスティックスイミング)
 ● サッカー
 ● テニス
 ● バレーボール
 ● 体操(競技)
 ● バスケットボール
 ● 自転車(トラックレース)
 ● アームレスリング
 ▲ 3x3
 ● 軟式野球
 ● 柔道
 ● 弓道
 ● ライフル射撃
 ● 剣道
 ● 高等学校野球(硬式・軟式)
 ▲ フットサル

矢板市
 ● サッカー
 ● 軟式野球
 ▲ オリエンテーリング

那須塩原市
 ● サッカー
 ● ソフトテニス
 ● 馬術
 ● ゴルフ
 ● トライアスロン
 ▲ キットトライアスロン
 ▲ さいかつぼーる

那須町
 ● 自転車(ロードレース)
 ● エアロビク

大田原市
 ● ソフトボール
 ● 相撲
 ● バドミントン
 ★ 綱引
 ▲ スポーツチャンバラ
 ▲ ダンススポーツ
 ▲ リレマラソン

塩谷町
 ● カヌー(スラローム)
 (ワイルドウォーター)

日光市
 ● ホッケー(冬季大会)
 ● ボクシング
 ● 軟式野球
 ▲ 長くつアイスホッケー
 ● スケート(スピード・ショートトラック・フィギュア)
 ● アイスホッケー
 ▲ カーリング

さくら市
 ● サッカー
 ● インディアカ

那珂川町
 ★ ゲートボール
 ▲ 3B体操

那須烏山市
 ● アーチェリー
 ▲ ウォーキング

高根沢町
 ★ グラウンドゴルフ
 ▲ カローリング
 ▲ ペタンク

壬生町
 ● スポーツライミング
 ● 銃剣道
 ▲ ターゲット・バードゴルフ

足利市
 ● レスリング
 ● ソフトボール
 ● ボウリング
 ● バレーボール
 ● (ビーチ)バレーボール
 ▲ スポーツウエルネス吹矢
 ▲ パークゴルフ

栃木市
 ● ボート
 ● ハンドボール
 ● カヌー(スプリント)
 ● なぎなた
 ▲ タグラグビー
 ▲ フットベースボール

真岡市
 ● サッカー
 ▲ ソフトバレーボール

茂木町
 ● 体操(トランポリン)
 ▲ ふれあいトランポリン

市貝町
 ● 水泳(オープンウォーター・スイミング)
 ▲ フライングディスク

上三川町
 ● 体操(トランポリン)
 ▲ ふれあいトランポリン

芳賀町
 ★ パワーリフティング
 ▲ ママさんバレーボール

下野市
 ● フェンシング
 ▲ スマートフェンシング

益子町
 ● サッカー
 ● ハンドボール
 ▲ キンボールスポーツ

佐野市
 ● バレーボール
 ● ラグビーフットボール
 ▲ クリケット
 ▲ ドッジボール

野木町
 ● ハンドボール
 ▲ バウンドテニス

小山市
 ● 水泳(水球)
 ● 体操(新体操)
 ● ウェイトリフティング
 ● 軟式野球
 ● 空手道
 ▲ フォークダンス

千葉県千葉市(県外)
 ● セーリング

● 正式競技(本大会37競技・冬季大会2競技)
 ● 特別競技(1競技) ★ 公開競技(5競技)
 ▲ デモンストラティオンスポーツ(本大会31競技・冬季大会1競技)

○ いちご一会とちぎ大会(全スポ)

いちご一会とちぎ大会
 第22回 全国障害者スポーツ大会

宇都宮市
 ◆ 陸上競技
 10/29~31
 10/29, 30
 ◆ 水泳
 10/29~31
 ◆ バスケットボール
 10/29, 30
 ◆ グランドソフトボール
 10/29, 30
 ◆ バレーボール
 10/29, 30
 ◆ 卓球バレー
 10/2

大田原市
 ◆ ソフトボール
 10/29, 30
 ◆ ポッチャ
 10/29, 30
 ◆ スポーツウエルネス吹矢
 10/29

那須塩原市
 ◆ アーチェリー
 10/30
 ◆ サッカー
 10/29~31

佐野市
 ◆ バレーボール
 10/29, 30

栃木市
 ◆ フライングディスク
 10/29~31
 ◆ 車椅子ダンス
 10/30

小山市
 ◆ 車いすバスケットボール
 10/29, 30

鹿沼市
 ◆ 卓球(STT※含む)
 10/29~31

足利市
 ◆ ボウリング
 10/29, 30
 ◆ フットソフトボール(フットベースボール)
 10/29, 30

真岡市
 ◆ サッカー
 10/29~31

◆ 正式競技(14競技)
 ◇ オープン競技(3競技)
 ● 身体障害者が出場する競技
 ● 知的障害者が出場する競技
 ● 精神障害者が出場する競技

国民体育(スポーツ)大会開催状況(2巡目)

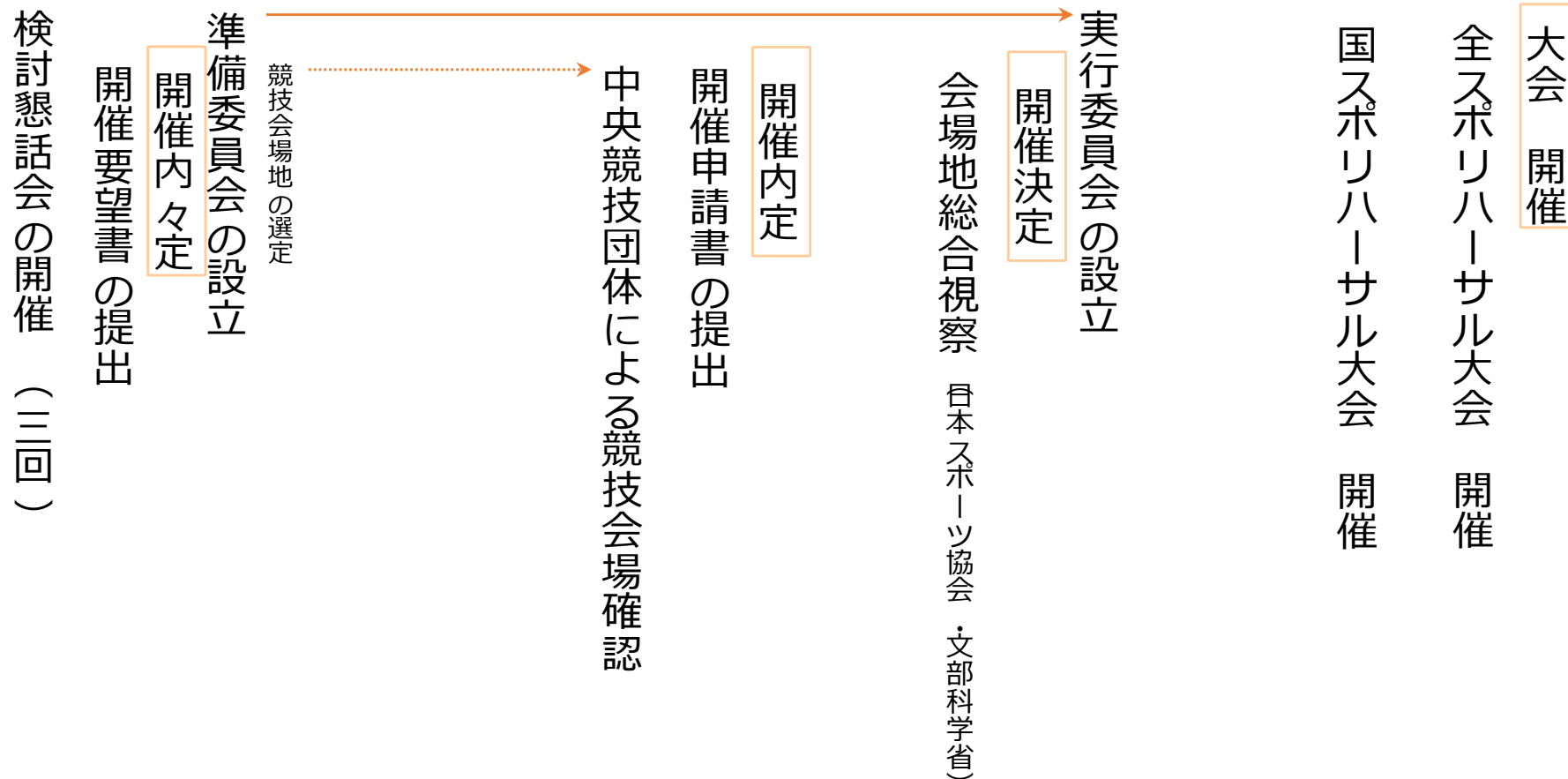
回	開催年		開催地	地区	備考	全スポ回数
43	S63	1988	京都	中		
44	H元	1989	北海道	東		
45	H2	1990	福岡	西		
46	H3	1991	石川	中		
47	H4	1992	山形	東		
48	H5	1993	香川・徳島	西		
49	H6	1994	愛知	中		
50	H7	1995	福島	東		
51	H8	1996	広島	西		
52	H9	1997	大阪	中		
53	H10	1998	神奈川	東		
54	H11	1999	熊本	西		
55	H12	2000	富山	中		
56	H13	2001	宮城	東		1
57	H14	2002	高知	西		2
58	H15	2003	静岡	中		3

回	開催年		開催地	地区	備考	全スポ回数
59	H16	2004	埼玉	東		4
60	H17	2005	岡山	西		5
61	H18	2006	兵庫	中		6
62	H19	2007	秋田	東		7
63	H20	2008	大分	西		8
64	H21	2009	新潟	中		9
65	H22	2010	千葉	東		10
66	H23	2011	山口	西		11
67	H24	2012	岐阜	中		12
68	H25	2013	東京	東		13
69	H26	2014	長崎	西		14
70	H27	2015	和歌山	中		15
71	H28	2016	岩手	東		16
72	H29	2017	愛媛	西		17
73	H30	2018	福井	中		18
74	R1	2019	茨城	東		19

回	開催年		開催地	地区	備考	全スポ回数
75 (欠番)	R2	2020	(鹿児島)	西	延期 R2→R5	20 (欠番)
76 (欠番)	R3	2021	(三重)	中	中止	21 (欠番)
77	R4	2022	栃木	東		22
特別大会	R5	2023	鹿児島	西		特別
78	R6	2024	佐賀	西	「国民スポーツ大会」に改称	23
79	R7	2025	滋賀	中		24
80	R8	2026	青森	東	内定	25
81	R9	2027	宮崎	西	内定	26
82	R10	2028	長野	中	内々定	27
83	R11	2029	群馬	東	内々定	28
84	R12	2030	島根	西	内々定	29
85	R13	2031	奈良	中	内々定	30
86	R14	2032	山梨	東		31
87	R15	2033	鳥取	西	内々定	32
88	R16	2034	沖縄	西		33

大会開催までのスケジュール(予定)

10年前	9年～6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
R4年度	R5～R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度



表彰

【国スポ】

- ・ 都道府県別に、競技得点、参加得点を合計し、競技別、男女総合（天皇杯）、女子総合（皇后杯）を競う。
- ・ 競技別得点は8位以内の入賞に与えられ、参加得点（10点）はいずれかの種目に参加することで与えられる。
- ・ 開催地都道府県は、ブロック予選を経ずに本大会に出場できる「開催県フルエントリー」で開催される。

区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	
個人競技	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	
団体競技	2~4人	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5~7人	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点

【全スポ】

- ・ 都道府県対抗ではなく、競技ごとに競った結果により表彰を行う。

予 算

【他県の事例によるもの(複数年での全体予算)】

費 目	予 算
運営費（開閉会式典・選手役員輸送・行幸啓関連費用 等）	9 0 億円
競技力向上経費（選手及び指導者育成、遠征費用 等）	3 5 億円
施設整備費（仮設、老朽化対策、バリアフリー対応 等）	1 1 0 ～ 1 4 0 億円
計	2 3 5 ～ 2 6 5 億円

（出典：令和元年11月11日第1回島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会）

【自治体の負担状況】

- ・ 大会準備及び運営のための経費の収入源は次のとおりである。
国補助金、日本スポーツ協会補助金、開催県（会場地市町村含む）負担金または準備金
民間からの寄付や募金、スポンサー料、入場料 等
※ 国及び日本スポーツ協会からの補助額は限られており、開催県（会場地市町村含む）の負担が大きい
- ・ 県の財政状況が厳しい中、競技開催市町村に対しては相応の支援が必要となる。

3 国体改革の取組の現状

これまでの取組

○ 経緯

- ① 新しい国民体育大会を求めて ～国体改革2003～ <平成15（2003）年3月策定>
「大会の充実・活性化」と「大会運営の簡素・効率化」を二本柱とする今後の国体改革のまとめ
- ② 国体の今後のあり方プロジェクト提言骨子 <平成19（2007）年3月策定>
今後の国体の改革、改善の方向性に関する提言骨子
- ③ 21世紀の国体像 ～国体ムーブメントの推進～ <平成25（2013）年3月策定>
「スポーツ宣言日本」において示された「スポーツの21世紀的価値」を踏まえた新たな国体像としてとりまとめ



- 3 巡目国民スポーツ大会在り方事前検討ワーキンググループの設置（令和元年8月）
 - ・ 3 巡目国スポのあり方（果たすべき役割、目指す方向、位置づけ）や今後検討すべき事項の整理等を主に協議
 - ・ 国スポを支えるステークホルダーに対してアンケート調査を実施（令和3年12月20日～令和4年2月8日）
- 3 巡目国スポ在り方検討プロジェクトの設置を承認（令和4年8月）

○ 3巡目国民スポーツ大会在り方事前検討ワーキンググループ

【検討事項（一部抜粋）】

○ 大会規模

- ・ 大会規模の見直し（各競技会の適正規模にて実施できるよう改めて見直し）

○ 大会の開催時期

- ・ 大会の会期（柔軟な会期設定の検討）
- ・ 各競技会の開催時期（大会会期内での柔軟な実施や分散開催等の検討）

○ 総合開閉会式

- ・ 実施規模（簡素化）や屋内開催等の検討

○ 大会経費の確保

- ・ 大会参加負担金の適正金額／中央競技団体負担金の導入／入場料金の設定

○ 開催地の選定

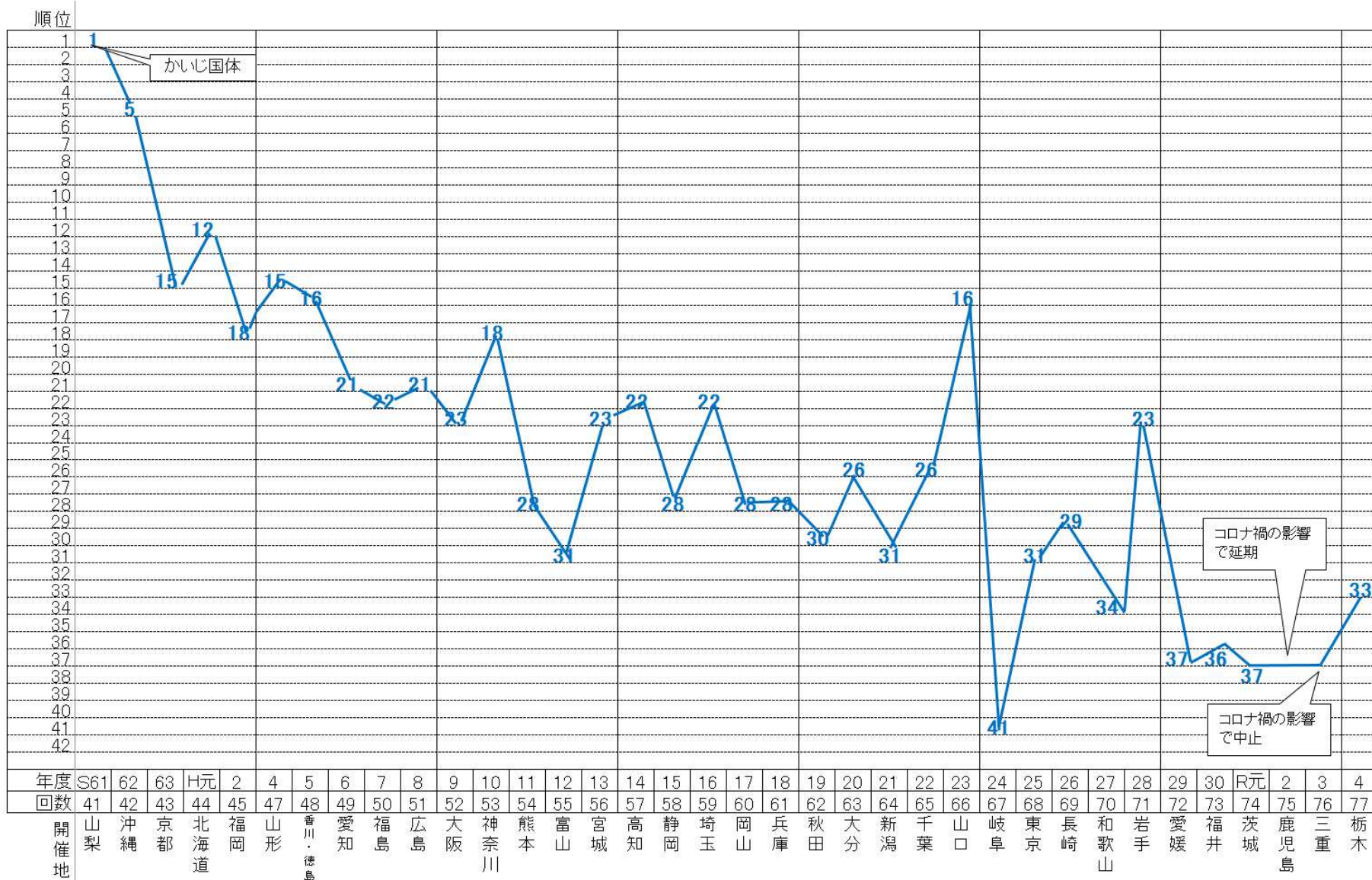
- ・ 新たな立候補制の展開（持ち回り開催を廃止、「立候補制」の導入検討）
- ・ 広域開催（複数都道府県合同開催やブロック開催のルールや仕組みの検討）

等

4 山梨県の現状

順位推移

○ 国民体育大会における山梨県の順位推移



前回(昭和61年 かいじ国体)開催施設

区分	No.	競技	会場地	競技会場	
正式競技	1	競泳	甲府市	小瀬スポーツ公園水泳プール	
		飛込		緑が丘スポーツ公園水泳プール	
		水球		甲府東高校水泳プール	
	2	漕艇	河口湖町	河口湖漕艇場	
	3	ヨット	山中湖村	山中湖村ヨットハーバー	
	4	カヌー	レーシング	上九一色村	精進湖カヌーレーシング場
			スラローム・ワイルドウォーター	鰍沢町・中富町・六郷町	富士川特設カヌー場
	5	陸上競技	甲府市	小瀬スポーツ公園陸上競技場	
	6	サッカー	甲府市	韮崎中央公園陸上競技場・芝生広場	
市営総合運動場					
韮崎西中学校運動場					
市営御勅使サッカー場					
韮崎高校運動場					
韮崎工業高校運動場					
7	テニス	甲府市	小瀬スポーツ公園庭球場		
8	ホッケー	白根町	白根中央公園ホッケー場		
			桃源郷ホッケーグラウンド		
9	ボクシング	昭和町	昭和町立町民体育館		

区分	No.	競技	会場地	競技会場	
正式競技	10	バレーボール	6人制・成年男女	櫛形町	櫛形町立総合体育館
			6人制・少年男子	山梨市	山梨市民総合体育館 山梨南中学校体育館 山梨北中学校体育館
			6人制・少年女子	竜王町	竜王町北部町民体育館
			9人制・成年男女	甲府市	小瀬スポーツ公園体育館
	11	体操	甲府市	緑が丘スポーツ公園体育館	
	12	バスケットボール	成年男子 成年女子	都留市	都留市民総合体育館
					都留文科大学体育館
					都留第一中学校体育館 東桂小学校体育館
			少年男子	富士吉田市	富士北麓公園体育館
					明見中学校体育館
					下吉田中学校体育館
	少年女子	河口湖町	河口湖町民体育館		
	13	レスリング	少年男子	須玉町	須玉町立総合町民体育館
			成年男子	高根町	高根町民体育館
	14	ウエイトリフティング	御坂町	御坂町町民体育館 御坂中学校体育館	
15	ハンドボール	塩山市	塩山中学校運動場 塩山中学校体育館 塩山市民体育館		

※会場地は旧市町村名

前回(昭和61年 かいじ国体)開催施設

区分	No.	競技	会場地	競技会場	
正式競技	16	自転車	ロードレース	山梨市 フルーツ街道周回コース	
			トラックレース	境川村 境川自転車競技場	
	17	軟式庭球	石和町	石和中央スポーツ広場テニスコート	
	18	卓球	成年男子	上野原町	町立上野原中学校体育館
			成年女子 少年男子・女子	大月市	大月市民総合体育館
	19	軟式野球	成年男子	富士吉田市	富士北麓公園野球場
					市営鐘山スポーツセンター総合グラウンド
					北富士工業高校運動場
			吉田高校運動場		
	少年男子	都留市	都留市総合運動公園楽山球場		
	都留市営住吉球場				
	20	相撲	忍野村	忍野村民体育館	
	21	馬術	小淵沢町	県馬術競技場	
22	フェンシング	長坂町	長坂町民体育館		
23	柔道	身延町	身延町民体育館		
24	ソフトボール	成年男子 成年女子	富士吉田市	下吉田第二小学校運動場	
				下吉田東小学校運動場	
		少年男子	南部町	町営昭南スポーツ公園野球場・運動場	
少年女子	富沢町	富沢町営野球場			
富河小・中学校サブグラウンド					

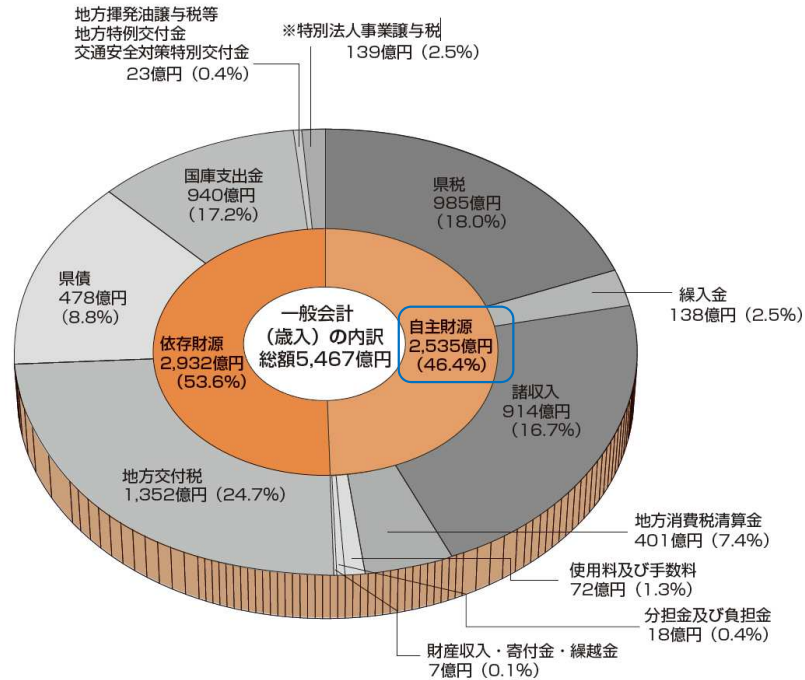
区分	No.	競技	会場地	競技会場	
正式競技	25	バドミントン	勝沼町	勝沼町町民体育館	
	26	弓道	増穂町	増穂町民体育館特設弓道場	
				利根川公園スポーツ広場遠の特設射場	
	27	ライフル射撃	AR・SBSAR・BR	八代町	県立八代射撃場
				八代小学校体育館	
			CP	竜王町	県警察学校射撃場
	28	剣道	富士吉田市	市営鐘山スポーツセンター総合体育館	
	29	ラグビーフットボール	成年男子	富士吉田市	富士北麓公園球技場・陸上競技場
			少年男子	八田村	御勅使南公園ラグビー場
	30	山岳	縦走 登はん 踏査	白州町	南アルプス前衛山城
				韮崎市	尾白川百合ヶ淵側壁
				芦安村	白州町白須・韮崎市清哲町
	31	アーチェリー	敷島町	敷島総合公園運動場	
	32	空手道	市川大門町	市川大門町民体育館	
	33	銃剣道	牧丘町	牧丘第一小学校体育館	
34	クレー射撃	韮崎市	県立韮崎射撃場		
35	なぎなた	下部町	下部町民体育館		
公開競技	36	高等学校野球	硬式	甲府市	小瀬スポーツ公園野球場
			軟式	大月市	緑が丘スポーツ公園野球場
				市営総合グラウンド野球場	

※会場地は旧市町村名

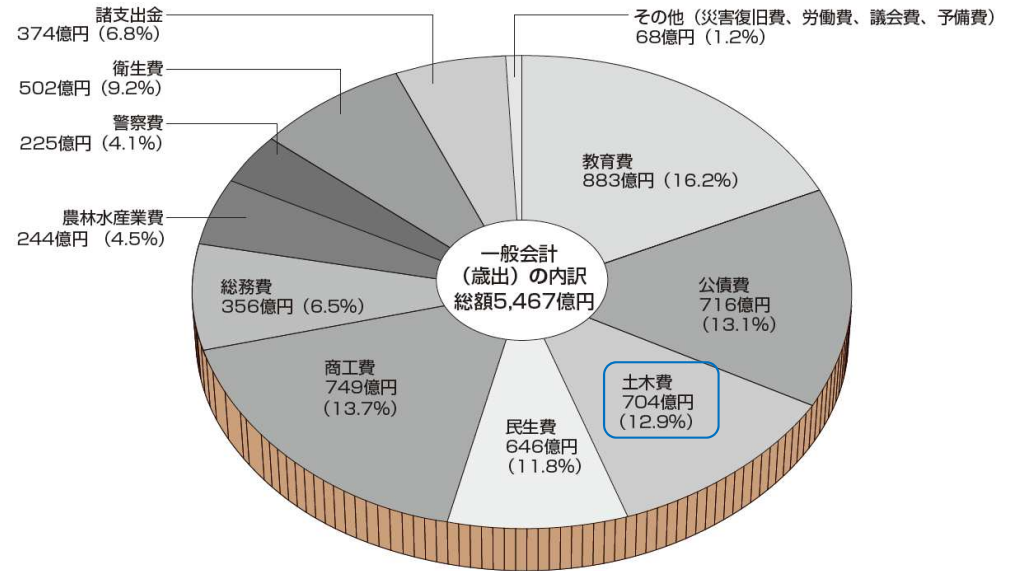
財政状況(県の歳入と歳出)

・山梨県の令和4年度の一般会計予算は5,467億円。

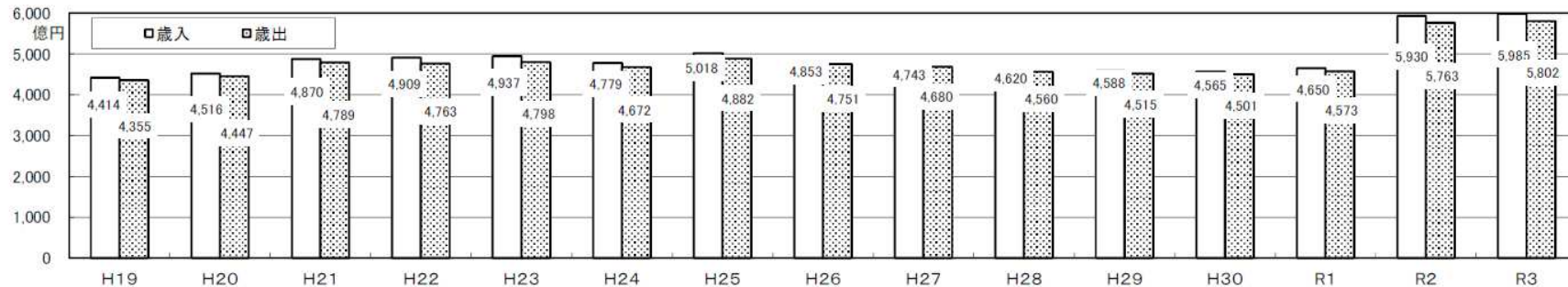
【歳入】



【歳出】



・一般会計決算規模の推移



財政規模(都道府県別)

- 総務省が公表している都道府県普通会計歳出決算額（令和2年度）によると、山梨県は41番目となっている。

(単位：百万円)

	都道府県	決算額
1	東京都	8,609,541
2	大阪府	3,733,515
3	北海道	3,100,102
4	兵庫県	2,607,434
5	愛知県	2,557,351
6	神奈川県	2,340,124
7	千葉県	2,161,766
8	埼玉県	2,094,580
9	福岡県	2,018,161
10	福島県	1,404,965
11	茨城県	1,303,704
12	静岡県	1,273,764
13	新潟県	1,170,469
14	京都府	1,158,235
15	宮城県	1,148,186
16	広島県	1,099,341

	都道府県	決算額
17	長野県	1,049,482
18	岩手県	1,003,255
19	群馬県	999,280
20	栃木県	964,703
21	岐阜県	963,989
22	熊本県	901,784
23	沖縄県	866,766
24	鹿児島県	853,606
25	長崎県	785,191
26	岡山県	778,826
27	三重県	761,959
28	青森県	733,345
29	山口県	719,028
30	愛媛県	713,683
31	大分県	684,402
32	山形県	674,239

	都道府県	決算額
33	宮崎県	667,632
34	秋田県	667,176
35	滋賀県	648,685
36	和歌山県	626,676
37	奈良県	613,770
38	石川県	609,964
39	富山県	594,057
40	佐賀県	575,734
41	山梨県	566,717
42	徳島県	525,447
43	島根県	520,566
44	福井県	509,476
45	高知県	492,330
46	香川県	478,524
47	鳥取県	374,789

財政力指標(都道府県別)

- ・ 総務省が公表している全都道府県の財政力指標（令和3年度決算）によると、山梨県は32番目となっている。
- ・ 財政力指標は、地方公共団体の財政力を示す指標で、指標が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

	都道府県名	財政力指数
1	東京都	1.07301
2	愛知県	0.88545
3	神奈川県	0.85330
4	大阪府	0.75219
5	千葉県	0.75112
6	埼玉県	0.74351
7	静岡県	0.69278
8	茨城県	0.63115
9	福岡県	0.62808
10	兵庫県	0.62258
11	栃木県	0.61976
12	群馬県	0.61177
13	宮城県	0.59731
14	広島県	0.59332
15	三重県	0.58573
16	京都府	0.56803

	都道府県名	財政力指数
17	滋賀県	0.54836
18	岐阜県	0.53634
19	福島県	0.52158
20	岡山県	0.51083
21	長野県	0.50787
	都道府県平均	0.50034
22	石川県	0.49718
23	富山県	0.46248
24	香川県	0.46068
25	新潟県	0.45700
26	北海道	0.44595
27	山口県	0.43531
28	愛媛県	0.42493
29	奈良県	0.41700
30	福井県	0.40511
31	熊本県	0.40305

	都道府県名	財政力指数
32	山梨県	0.38432
33	大分県	0.37501
34	山形県	0.36209
35	沖縄県	0.36177
36	岩手県	0.35856
37	佐賀県	0.34218
38	青森県	0.34205
39	宮崎県	0.34168
40	鹿児島県	0.33756
41	長崎県	0.33484
42	和歌山県	0.32297
43	徳島県	0.31217
44	秋田県	0.31066
45	鳥取県	0.27259
46	高知県	0.26105
47	島根県	0.25379

5 意見交換

○ 參考資料

【参考】

① 新しい国民体育大会を求めて ～国体改革2003～ ＜平成15（2003）年3月策定＞

○ 国民体育大会の果たしてきた意義と役割

1. わが国のスポーツ振興
2. スポーツの社会的地位の向上
3. 都道府県のスポーツ施設の整備及び競技団体等スポーツ組織・体制の充実
4. 各種指導者の育成と組織の促進
5. 郷土意識の高揚による地域の活性化
6. 開催地におけるスポーツ文化・教育への貢献
7. 開催地のPR及び経済効果への貢献

【参考】

① 新しい国民体育大会を求めて ～国体改革2003～

＜平成15（2003）年3月策定＞

○ 国民体育大会をめぐる課題

1. 参加人数の拡大による都道府県の負担増
2. 競技ルールの変更とそれに対応する施設、整備の適合の困難さ
3. トップアスリート参加の困難さ
4. 一過的で過剰な強化策
5. 判定・採点等に対する不公平感



○ 改革の具体的な取組

1. 大会の充実・活性化

参加資格の見直し、ふるさと選手制度の導入、予選免除の拡大、公正な判定の徹底 等

2. 大会運営の簡素・効率化

大会規模の適正化（参加者総数15%（4,500人）削減）、競技会開始式の廃止、近接県の協議施設の活用、企業協賛制度の導入、開催地選定のあり方 等

【参考】

② 国体の今後のあり方プロジェクト提言骨子

＜平成19（2007）年3月策定＞

今後の国体の改革、改善の方向性について、とりまとめたもの

【内容（一部抜粋）】

○ 大会規模

- ・ 大会規模の見直し（各競技会の規模について改めて見直しを行う）
- ・ 少年種別の充実（ジュニア層の強化を図る） 等

○ 大会の開催時期

- ・ 大会の会期（9日間とする）
- ・ 各競技会の開催時期（大会会期以外での実施競技数は概ね3競技程度とする）

○ 各競技の施設等

- ・ 国体開催後の利用も視野に入れた競技施設基準の策定 等

○ 開催地の選定

- ・ 広域開催（複数の都道府県での施設を利用して開催できることとする） 等

【参考】

③ 21世紀の国体像 ～国体ムーブメントの推進～

<平成25（2013）年3月策定>

○ 21世紀国体の目指す方向性（コンセプト）

- ・ 国体を通じた地域の活性化 ～ 「元気な日本社会」の創造 ～
- ・ 国体を通じたスポーツ文化の浸透 ～ スポーツとともにある社会の実現 ～
- ・ 国体を通じたアスリートの発掘・育成・強化 ～ 地域から世界へ ～

○ 大会の位置づけ

- ・ 各都道府県の郷土を代表する選手が競う国内最大・最高の総合スポーツ大会
- ・ 国民のスポーツへの関心やスポーツの文化的価値への認識を高める大会
- ・ 将来性豊かなアスリートの発掘・育成・強化を行う大会

○ 具体的な取組の内容

- ・ 「国体ムーブメント」の積極的な展開
- ・ 少年種別（ジュニア世代）の充実
- ・ 各競技会の実施規模等の見直し 等

○ 引き続き検討が必要な事項

- ・ 表彰制度
- ・ 大会名称
- ・ 大会開催経費の負担軽減 等